

香川県の地震

令和7年（2025年）6月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	2
震度分布図	・・・	2

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和7年（2025年）7月7日）	・・・	3
-------------------	-----	---

地震一口メモ

津波フラッグは避難の合図	・・・	4
--------------	-----	---

この資料の震源リスト・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

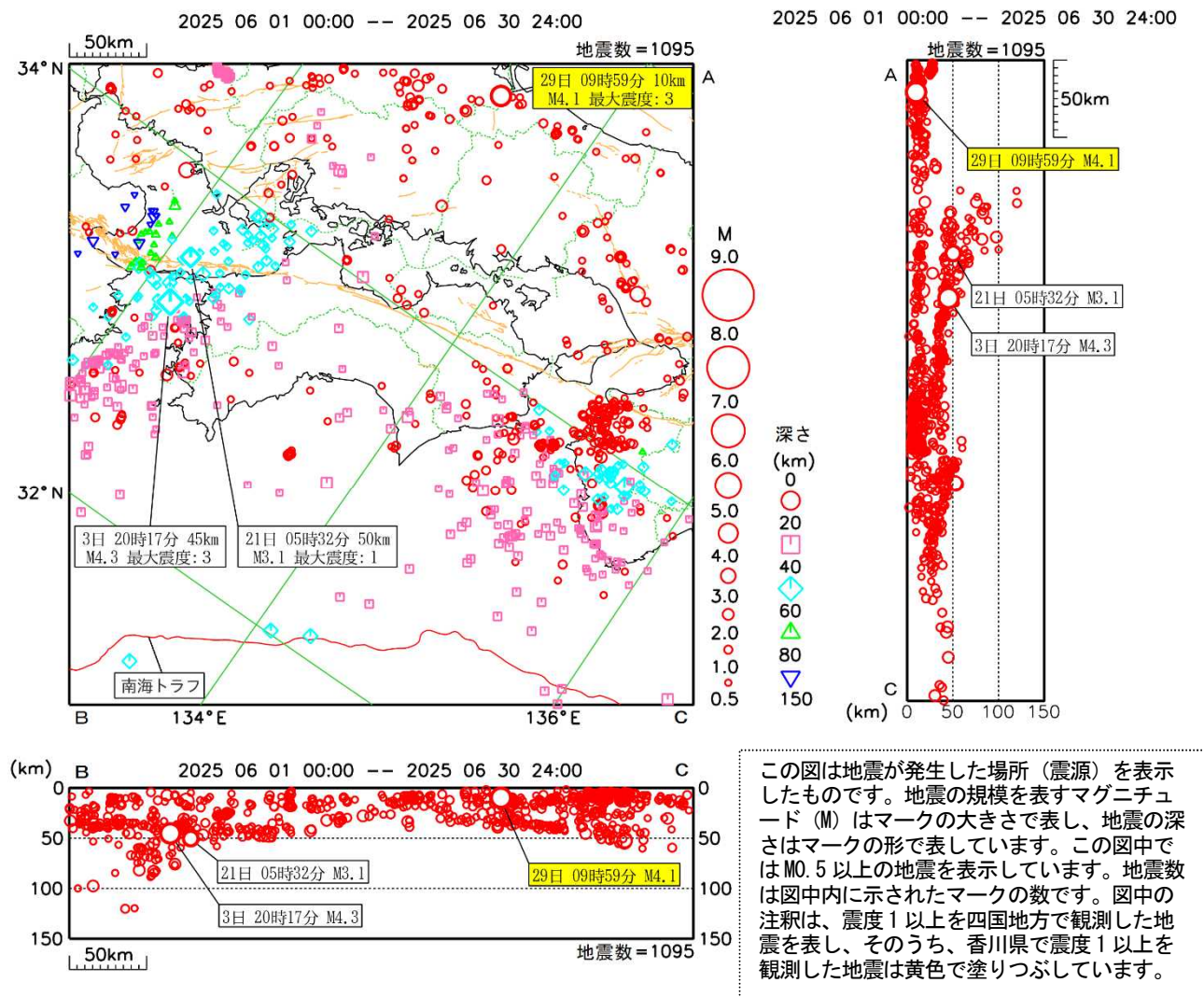
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2025 年 6 月

◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした（前月は0回）。

29日 09時59分 島根県東部の地震（深さ10km、M4.1）により、土庄町・丸亀市・観音寺市で震度1を観測しました。この地震では、鳥取県米子市・境港市・南部町、島根県安来市で震度3を観測したほか、中国・四国地方で震度2～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の3回でした。

3日 20時17分 豊後水道の地震（深さ45km、M4.3）により、愛媛県伊方町で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。

18日 21時30分 日向灘の地震（深さ25km、M4.7；震央分布図地図範囲外）により、愛媛県宇和島市・愛南町、高知県宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・日向市・西都市・高鍋町・川南町・都農町・門川町・高千穂町・美郷町・宮崎市・国富町で震度2を観測したほか、九州地方で震度1を観測しました。

21日 05時32分 伊予灘の地震（深さ50km、M3.1）により、愛媛県八幡浜市・伊方町・西予市で震度1を観測しました。

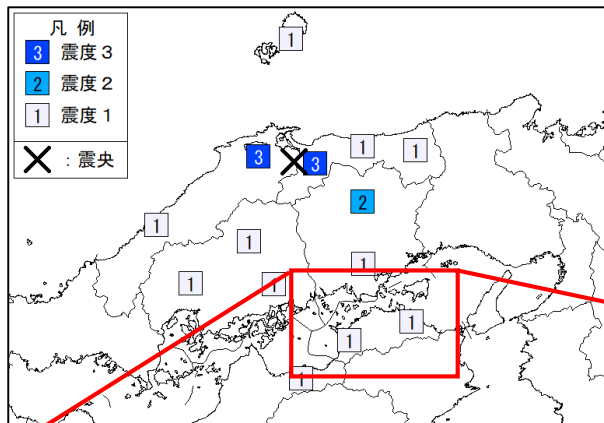
◎香川県の地震表（震度 1 以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2025 年 06 月 29 日 09 時 59 分 香川県 震度 1：土庄町淵崎, 丸亀市新田町*, 観音寺市坂本町	島根県東部	35° 20.8' N	133° 16.4' E	10km	M4.1

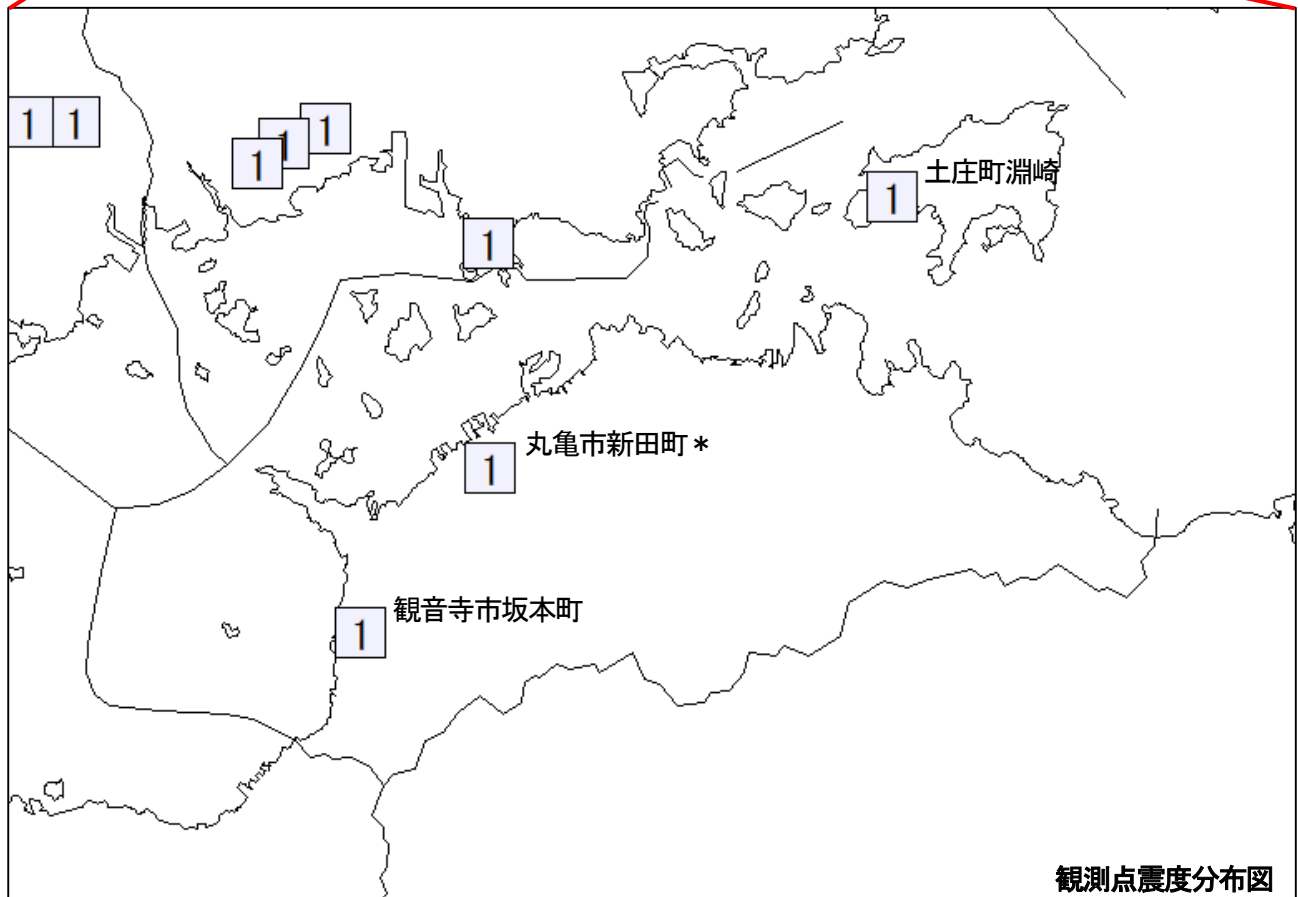
*は気象庁以外の震度観測点

◎震度分布図

2025 年 06 月 29 日 09 時 59 分 島根県東部の地震



地域震度分布図



観測点震度分布図

*は気象庁以外の震度観測点

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

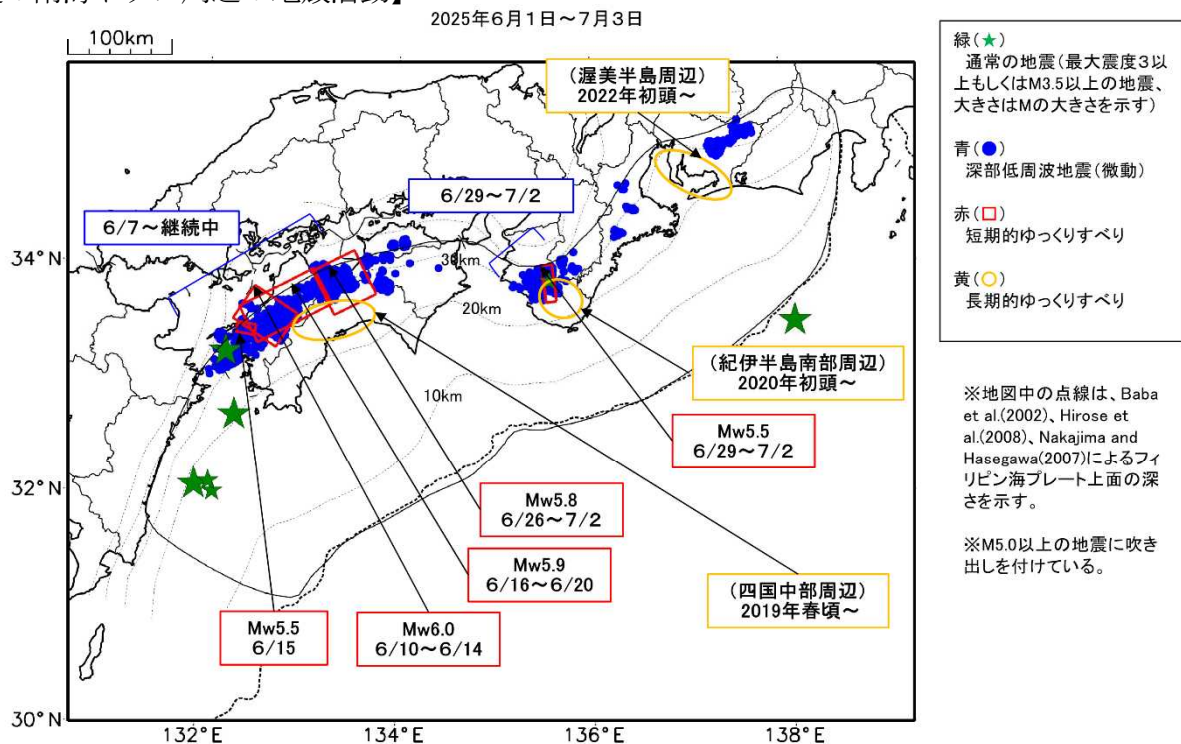
令和7年(2025年)7月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果(概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が80%程度であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....産総研の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

南海トラフ地震関連解説情報について ー最近の南海トラフ周辺の地殻活動ー

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2507/07c/nt20250707.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

津波フラッグは避難の合図

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、津波警報等）が発表されたことをお知らせする旗で、長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインです。縦横の長さや比率に決まりはありませんが、遠くからの視認性を考慮して、短辺 100cm 以上が推奨されます。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方等にも、津波警報等の発表をお知らせすることができます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

津波フラッグは避難の合図

海から離れて
高いところへ！



いつ使われる？	どこで使われる？	見かけたら？
津波警報などの※発表時 ※大津波警報・津波警報・津波注意報	海水浴場など 波音や風で音が聞き取りづらいため、旗で視覚的に伝達	高いところへにげて！ すぐに海から離れ、高台や津波避難タワーなどへ避難を

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

※Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可・図解を分割編集しての使用はできません。



「津波フラッグ」の周知・普及を図るための映像資料

気象庁/知識・解説 YouTube チャンネル
ー「津波フラッグ」は避難の合図ー

https://www.youtube.com/watch?v=1_x7fyzRtKo

(作成：公益財団法人 日本ライフセービング協会・気象庁 令和3年3月)